

樹木害虫 「クビアカツヤカミキリ」に注意！

2019（令和元）年10月
兵庫県病虫害防除所

サクラ、モモ、ウメなど主にバラ科の樹木に発生し枯死させるクビアカツヤカミキリの被害が大阪府・奈良県・徳島県など全国10都府県で発生しています（2019年8月現在、日本農業新聞調べ）。

兵庫県では、未だ発生が確認されていませんが、今後発生可能性があります。生態と防除法についてご理解いただき、クビアカツヤカミキリに注意しましょう！

1 クビアカツヤカミキリはサクラやモモの害虫

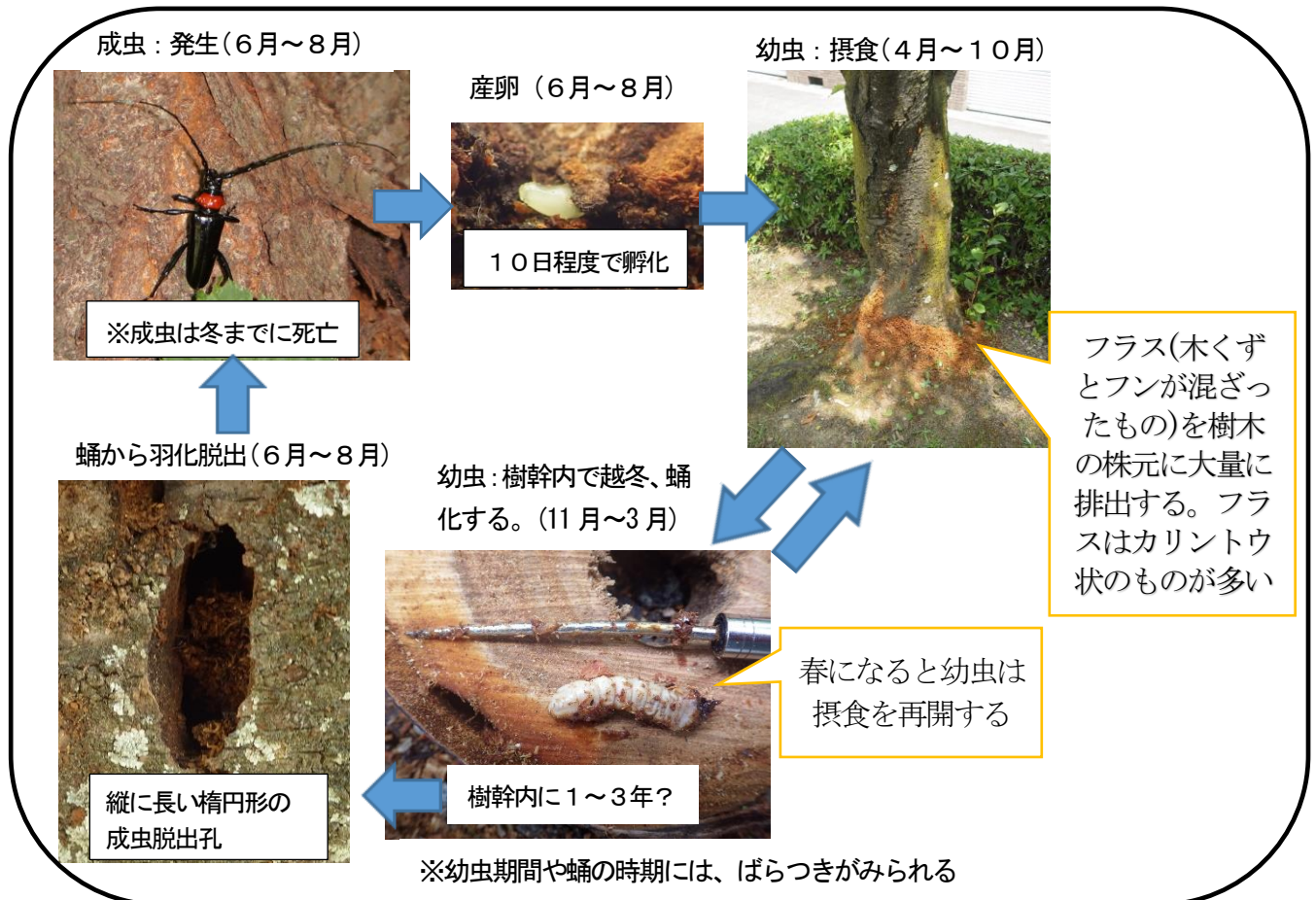
クビアカツヤカミキリ（学名：*Aromia bungii*）

- ・分類：コウチュウ目・カミキリムシ科
- ・分布：中国、朝鮮半島、ベトナムなど
- ・被害樹種：サクラ、モモ、ウメなどバラ科樹木等
幼虫が活着している樹木に穿入して加害
- ・体長：2～4cm（成虫）
- ・特徴：からだ全体が黒く光沢がある。
頭部の後ろ（胸部）が赤く、側面に尖状の突起がある。
成虫はジャコウのような匂いを放つ。



図 クビアカツヤカミキリ：オス（画像下：長い触角）・メス（画像上：短い触角）
【（地独）大阪府立環境農林水産総合研究所原図】

クビアカツヤカミキリの生活環【（地独）大阪府立環境農林水産総合研究所作成を一部改変】



2 農薬以外の防除

① 成虫の捕殺

成虫は見つけ次第捕殺します。

- ・時期：6月～8月（発生ピークは6月中旬～7月中旬）

② 幼虫の刺殺

樹幹や根から排出するフラス(木くず)を掻き出し、長い針金などを幼虫が食入してできたトンネル（以下、坑道）内に差し込んで幼虫を刺殺します(下図右)。ただし、幼虫は樹幹内を不規則な方向に食べ進むため、坑道が曲がりくねっていて針金が届かないこともあります。

- ・時期：4月～10月（フラス排出期）
- ・必要な物品：千枚通し、針金、硬めのブラシ（できれば金属製ブラシ）等

③ 防風・防虫ネット利用による分散防止

防風ネット等を樹幹に巻き付けて樹から脱出した成虫の動きを封じて殺虫し、ほかの樹への移動を防ぎます。

- ・時期：ネットの巻き付け作業は10月～翌5月（成虫の発生期まで）に行い、成虫を殺虫します。
- ・必要な物品：防風・防虫ネット（目合い0.4～4mm程度、幅1～2m、例えば、農業用防風ネット等市販品で良い）、針金、ひも、ペグ(地面固定用の打ち込み金具)など
- ・高さ2m程度まで巻き付け、針金やひもで固定します。ネットを樹幹に密着させると成虫が噛み切るので、ネットを二重にして、樹幹との間に余裕を持たせます。根元に生息することもあるので、根元のネットはペグで固定します(下図左・中)。



図 左：ネットの設置



中：ネット内の成虫



右：針金を使った幼虫の刺殺

【(地独) 大阪府立環境農林水産総合研究所原図】

3 農薬による防除

農薬登録のあるエアゾール剤で対応します。詳細は「兵庫県農作物病害虫・雑草防除指導指針」を参照に、適用作物・適用害虫・使用上の注意事項等確認の上、安全使用に努めてください。

問合せ先 兵庫県病害虫防除所（兵庫県立農林水産技術総合センター内）

加西市別府町南ノ岡甲 1533

電話 0790-47-1222

Fax 0790-47-1821